福島放技ニュース
THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS
2019
5月31日 号
170 VOL.

発行所　公益社団法人　福島県診療放射線技師会　〒960-8157　福島市蓬莱町七丁目13番5号　TEL/FAX 024(529)7238
ホームページアドレス　http://fart.jp/

巻頭言

ラジエーションハウス

副会長　平　井　和　子

４月から「ラジエーションハウス」が放送されています。診療放射線技師が取り上げられるドラマは、ほぼ無いので、毎回楽しみに見ています。内容はともあれ、技師たちの態度や仕草が気になって仕方がありません。原作漫画を忠実に再現しているドラマであり、ある程度、面白く作られているのは仕方がないことと思いますが、ポケットに手を突っ込んでいたり、ダラダラとしていたり、長い髪を縛っていなかったり…。普段の私たちは、もっとキビキビと仕事をしているはずですが、なぜか、技師のイメージはあのような感じなのかもしれません。

「人の振り見て我が振り直せ」のことわざの通り、自分が不愉快な感情を抱くものについては、反面教師としてとらえ、自分も普段同じような行動をしていないかを確認し、自己成長につなげたいものです。技術は一流でも、態度や言動に問題があれば、受け入れてもらえない可能性があります。

この「ラジエーションハウス」のおかげで、診療放射線技師の仕事がクローズアップされ、理解される絶好の機会であると思っています。単に「レントゲン写真を撮る仕事」みたいな印象が大きく変わってくるのではないでしょうか？　または、病院内で虐げられていたけれど、光が当たりそうだなどの声があるとの書き込みをみました。縁の下の力持ちとして、医療には貢献しているはずなのに、なかなか認知されていない状況はあるようです。

私は、いまだに、お年寄りの患者さんから看護師さんと呼ばれることがあります（若いころは、しょっちゅうでした）。この患者さんは看護師に撮影されていると思っているのだろうかと、正直不愉快に思っていますが、あえて訂正もせず、にこやかに応対するようにしています。この患者さんにとっては、白衣の女性＝看護師でしかないのだろうから。

当院は、技師数22名のうち女性技師は９名で、年々、女性技師が占める割合が増えてきています。全国的に女性技師の数も増え、認知度も上がってきていますが、男女の別なく、私たちは、高いレベルでの専門知識や技術を身につけた専門職として、それぞれの置かれた立場で、自分に厳しく、誇りを持って業務に取り組んでいかなければならないと思っています。

５月末には、県技師会総会が開催されます。この放技ニュースが発行される頃には、すでに新役員が決まっていることと思います。自分が役員を担当してみて、執行部の方々のご苦労が少しばかりではありますが、理解することができました。今後も、技師会活動にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

福島県立医科大学　新医療系学部だより

福島県立医科大学新医療系学部設置準備室　久　保　　均

皆さま、こんにちは。先生方がこの号を見られている今は、「令和元年」でしょうか。元号が変わっても特に変化ないよね、あるいはシステムの確認が大変だったね、というところかもしませんが、新たな元号で心機一転されている先生方も多いかと思います。

私ども新医療系学部設置準備室にとっても、いよいよ本年度は文部科学省への設置申請書類の提出の年です。滞りなく開学を迎えるべく、教職員一同必死になって準備を進めて参りますので、先生方の変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

本年４月１日付けで新しい先生に加わっていただきましたので、ご紹介申し上げます。高橋規之先生です。秋田県立循環器・脳脊髄センター（以前の秋田県立脳血管研究センター）から教授として着任されました。専門は画像工学です。本学では主に画像関係と、放射線画像診断検査技術に関する教育・研究に携わっていただきます。

以下は、ご本人からのご挨拶です。

福島県立医科大学新医療系学部設置準備室　高　橋　規　之

このたび、福島県立医科大学新医療系学部設置準備室に着任しました、高橋規之です。これからは、2021年の開学に向けての準備に加わり、無事第１期生を迎え入れることができるように努力していきたいと思います。今後、福島県診療放射線技師会会員の皆様と一緒に仕事をする機会が増えると思います。その際はどうぞよろしくお願いいたします。

初めに自己紹介させていただきます。私は、昭和39年、前回の東京オリンピック開催の年に仙台で生まれました。昭和58年に東北大学医療技術短期大学部に入学し、卒業後東北大学医学部附属病院に診療放射線技師として就職しました。５年間働いた後、仙台市立病院に23年間在籍し、その後秋田県立循環器・脳脊髄センターに５年間在籍し、本年４月にこちらに移って参りました。秋田県立脳血管研究センターという名称はご存知の方も多いと思いますが、名称が本年３月に秋田県立循環器・脳脊髄センターに変更されました。循環器部門を拡充させるため新棟が立ち、センター開設から50年の節目に名称が変わり、寂しさを感じる職員や県民も多いようです。

研究に関しては、仙台市立病院に在籍中、新潟大学大学院保健学研究科に社会人学生として入学し、平成22年に博士課程を修了しました。私の研究分野は、医用画像工学を中心としたコンピュータ支援診断システムの開発です。研究活

動を始めた時から、臨床で身近に役立つことを目的として、システムの開発を続けています。特に、CT画像における「急性期脳梗塞」、「アルツハイマー病」、「特発性正常圧水頭症」等の診断を支援する手法の開発を行い、臨床現場での問題点を解決できるよう研究を進めてきました。コンピュータ支援診断システム開発は、医学と工学が融合した学際的研究であり、両分野に精通している診療放射線技師は適していると私は思います。しかし、診療放射線技師でこの分野に足を踏み入れている方は限られている現状です。診療業務の中からテーマを見つけシステムを開発し、実現できた時の感動は病みつきになります。興味のある方はお声がけください。

近年、医療の進歩と高度化に伴い、診療放射線技師は常に技術の向上と新たな知識の吸収が求められていると思います。開学後の学生に対する教育の目標は、単に国家試験に合格するだけの知識ではなく、その基礎となる学力、それを深め臨床に応用していくことができる診療放射線技師を輩出していくことです。微力ではありますが、福島県の放射線医療の発展に尽力していきたいと思います。今後ともご支援いただきますようお願いいたします。

～会長　「オンレコ」～

1　「内部監査・会計監査」

４月中に両監査も無事に終わりました。特に監事・事務局長・財務・会計の方には、毎回大変お世話になっています。この場を借りて、深く御礼申し上げます。

2　「４月の技術学会総会（横浜）」

第10回東北放射線医療技術学術大会へのメーカー協賛等で、村上大会実行委員長（福島医大）と各ブースへご挨拶に回りました。これから、企画委員や実行委員の任命を行います。皆さんのご協力をお願いいたします。

3　「新しい年度になり、年号も令和に」

５月25日㈰での定時総会（いわき市）での役員選挙が行われます。会報と総会資料を会員へ送りました。今回の総会では役員改選もあります。施設宛にも委任状を同封しましたので、欠席される場合は必ず委任状の提出をお願いします。

新しい年度になったので、会費の早期納入をお願いします。

4　「第８回定時総会議案書の修正」

連休明けに会員の皆様に配布しました総会議案書ですが、学術奨励・論文賞が昨年のものになっている事が発覚しました。今年度の受賞はありませんので、昨年度の受賞者３名の方にはお詫びいたします。総会時にも口頭で修正とお詫びを行います。

5　「今年度のスタート」

第８回定時総会を経て、新しい役員が選出されます。６月16日㈰に合同委員会を、太田西ノ内病院で開催して各委員会活動をスタートさせます。

なお、フレッシャーズセミナーは、６月23日㈰に太田西ノ内病院で開催します。ぜひ、所属の新人に参加を促してください。宜しくお願いします。

第10回東北放射線医療技術学術大会への参加お願い

大会長　新　里　昌　一

第10回東北放射線医療技術学術大会を、2020年11月14日㈯、15日㈰の２日間、福島県福島市のコラッセふくしまで開催の運びとなりました。本大会は、（公社）日本診療放射線技師会2020年度東北地域学術大会と（公社）日本放射線技術学会東北支部第58回学術大会として開催いたします。

今回は第10回記念大会として、市民公開講座とハンズオントレーニングは行わないことにしました。市民公開講座は、第３回の前回福島開催から始まりました。当時は原発事故の影響が強い背景にもあり開催しました。

それ以外にも、技術学会と技師会の合同学術大会にふさわしい多くの企画が用意されています。会場での活発な討論が、今後の皆様の活動や日頃の業務へ参考にとなれば幸いです。

是非、福島市で開催される「第10回記念　東北放射線医療技術学術大会」にご参加頂き、多くの皆さんに楽しんでいただきたいと思っています。また県内から多くの演題をお待ちしております。

地区だより

県北地区

「平成31年度　県北地区協議会全体会」開催

平成31年４月26日福島県立医科大学附属病院、放射線部カンファランス室にて県北地区協議会全体会が開催されました。20名程の参加があり議案はすべて審議され承認可決されました。

今年度は役員改選があり新体制となります。

今後ともよろしくお願いいたします。

（安藤）

県南地区

「2019年度 県南地区協議会全体会」開催

４月24日㈬にビックアイにて開催されました。会に先立ち、特別講演では「平成30年度診療報酬改訂　画像診断領域におけるポイント」として、GEヘルスケアジャパン株式会社　大越厚氏から、診療報酬改定のポイントと医療被ばくの線量最適化支援ソリューションについて伺いました。協議会全体会では、星総合病院の続橋順市氏を議長に、スムーズに会が進行され、各議案が議決されました。

（國分）

会　津　地　区

「平成31年度　会津地区協議会全体会ならびに会津画像研究会」開催

４月21日㈰に神楽想にて開催されました。会津画像研究会として一般講演では、「造影剤リスクマネジメントアナフィラキシーへの対応を中心に」第一三共株式会社成谷　光造氏、「ITEMの報告」コニカミノルタジャパン株式会社　東北支店　佐藤　新也氏よりご講演頂きました。成谷氏の講演では、オムニパークの副作用について、更にはアナフィラキシー発生時の対処法の再確認をすることができました。佐藤氏からは、一般単純撮影装置（島津製作所）で「Aero DR fine」を用いて呼吸同期などと共に動態撮影を行う、X線動態システム「KINOSIS」を中心に、大変興味深いお話をしていただきました。

次に、佐藤医院　白川　義廣氏、磐梯町保健医療福祉センター瑠璃の里　池田　孝男氏より、施設紹介が行われました。

最後に協議会全体会が行われ、滞りなく各議案が議決されました。また、今年度は役員改選の年でもあり、地区役員が決定しました。私は前年度に引き続きまして、編集を担当させていただくことになりました。何卒宜しくお願い致します。

（板橋）

浜　通　地　区

「平成31年度浜通り地区協議会全体会」開催

平成31年４月20日㈯に南相馬市立総合病院にて全体会が開催されました。

今回は学術発表等はなく、全体会のみの開催となり出席人数は少なかったのですが役員の改選もあり、南相馬市立総合病院の花井さんが委員長を継続することになりました。新役員の方も含めて浜通り地区協議会を盛り上げていきたいと思います。

５月25日の県総会は浜通り地区協議会が中心になりいわき市で開催されるので、浜通り地区の技師の皆さんの協力を得て執り行われることを確認しました。

（大井）

編　集　後　記

５月になり新元号の令和の時代になりました。生年月日や書類手続き等もすべて西暦の方が分かりやすいのではないかと思うときもありますが、和暦で表現されるとほっとすることもあります。

今年度は役員の改選の時期になり、各地区協議会でも新しい役員でスタートしています。体調に気をつけてがんばりましょう。

（大井）

【各地区協議会全体会にて選出された地区委員
2019～2020年度】

〈県北地区協議会〉

委員長	池田正光	福島県立医科大学附属病院
副委員長	佐藤佳晴	公立藤田総合病院
副委員長	松井大樹	北福島医療センター
委員	阿部雅浩	福島県保健衛生協会
委員	斎藤聖二	きらり健康生活協同組合 須川診療所
委員	橋本浩二	大原綜合病院
委員	小池沙織	北福島医療センター
委員	三浦勉	地域医療機能推進機構 二本松病院
委員	佐藤勝行	福島赤十字病院
委員	佐藤勝正	福島県立医科大学附属病院
委員	渡辺進	わたり病院
委員	安藤智則	大原綜合病院
委員	相澤浩樹	福島赤十字病院
委員	宮岡裕一	福島県立医科大学附属病院
委員	佐藤真司	枡記念病院
委員	笹木毅	公立藤田総合病院

〈県南地区協議会〉

委員長	鍵谷勝	総合南東北病院
副委員長	菅野修一	田村市立都路診療所
副委員長	濱端孝彦	坪井病院
委員	佐久間守雄	星総合病院
委員	真船浩一	公立岩瀬病院
委員	元木弘之	太田熱海病院
委員	篠原宏幸	土屋病院
委員	照井英樹	太田熱海病院
委員	伊藤敬	寿泉堂綜合病院
委員	国分美加	総合南東北病院
委員	石森光一	白河厚生総合病院
委員	大原亮平	太田西ノ内病院
委員	村山滉治	白河厚生総合病院
委員	山内康彦	須賀川病院
委員	鈴木俊一郎	寿泉堂病院
委員	鈴木博文	星富久山医院
委員	白石嘉博	星総合病院
顧問	新里昌一	太田西ノ内病院
顧問	菅野和之	

〈会津地区協議会〉

委員長	鈴木雅博	竹田綜合病院
副委員長	森谷辰裕	会津中央病院
副委員長	目黒昭夫	会津医療センター
委員	山下朋廣	竹田綜合病院
委員	早川努	竹田綜合病院
委員	井上基規	竹田綜合病院
委員	遠山和幸	県立南会津病院
委員	菊地孝典	坂下厚生総合病院
委員	小沼慎一郎	会津中央病院
委員	二瓶秀明	竹田綜合病院
委員	吉田賢	会津医療センター
委員	風間顕成	高田厚生病院
委員	板橋聡	有隣病院
委員	小林瞳	竹田綜合病院
委員	千葉雄二	保健衛生協会 会津地区センター
委員	白岩大輔	会津中央病院
委員	星智徳	わかまつ インターベンションCL
委員	松枝直宏	竹田綜合病院
顧問	白川義廣	佐藤医院

〈浜通り地区協議会〉

委員長	花井辰夫	南相馬市立総合病院
副委員長	佐藤龍一	いわき市医療センター
副委員長	布川真理子	渡辺病院
委員	久米本祐樹	南相馬市立総合病院
委員	大井和広	小野田病院
委員	菅原正志	福島労災病院
委員	知々田勝之	鹿島厚生病院
委員	佐藤智昭	公立相馬総合病院
委員	高橋豊和	常磐病院
委員	折笠秀樹	いわき市医療センター
委員	安達伸也	いわき市医療センター
委員	鈴木規芳	
委員	新妻知之	かしま病院

5月25日の第一回理事会にて承認され各役割の担当委員となります。

また、各地区の県担当新委員は、次号で紹介します。